

おたる 西別院だより

季刊 第121号

京都 本願寺

伝灯奉告法要



御満座

お盆参り

8月6日(日)より12日(土)の間でお盆参りに伺います。
(あらかじめハガキにて、参詣日をお知らせいたします。)

納骨堂の読経

8月13日(日)より16日(水)の間は
朝8時から夕方6時まで納骨堂での読経を承ります。

秋季彼岸会

9月21日(木)～23日(土) 13:30

若竹説教所報恩講

9月3日予定 14:00

8月6日(日)より17日(木)まで月忌参詣および法事をお休みさせていただきますので、どうぞお寺にお参りください

伝灯奉告法要ご満座

第二十五代専如ご門主

「ご消息」發布される

※ご消息：お手紙



昨年十月一日から始まった「第二十五代専如門主 伝灯奉告法要」が十期八十日間にわたりつとめられ、五月三十一日、ご満座を迎えた。法要後、専如ご門主が「伝灯奉告法要御満座の消息」を發布された。昨年の十月一日よりお勤めしてまいりました伝灯奉告法要は、本

日ご満座をお迎えいたしました。十期八十日間にわたるご法要を厳肅盛大にお勤めすることができましたことは、仏祖のお導きと親鸞聖人のご遺徳、また代々法灯を伝えてこられた歴代宗主のご教化によることは申すまでもなく、日本全国のみならず、全世界に広がる有縁の方々の報恩謝徳のご懇念のたまものと、まことに有り難く思います。

昨年の熊本地震から一年を経過し、甚大な被害をもたらした東日本大震災から六年が過ぎました。改めてお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。どれほど時間が経過しても心の傷は癒されることなく、深い痛みを感じてお過ごしの方も多くおられるでしょう。なかでも、原子力発電所の事故による放射性物質の拡散によって、今なお故郷に帰ることができず、不自由な生活を余儀なくされている

方々が多くおられます。思うままに電力を消費する便利で豊かな生活を追求するあまり、一部の方々に過酷な現実を強いるという現代社会の矛盾の一つが、露わになったということができません。

自分さえ良ければ他はどうなってもよいという私たちの心にひそむ自己中心性は、時として表に現れてきます。このような凡愚の身の私たちではありますが、ご本願に出遇い、阿弥陀如来のお慈悲に摂め取られて決して捨てられることのない身ともなっています。そして、その大きな力に包まれているという安心感は、日々の生活を支え、社会のための活動を可能にする原動力となるでしょう。

凡愚の身であることを忘れた傲慢な思いが誤っているのは当然ですが、凡夫だから何もできないという無気力な姿勢も、親鸞聖人のみ教えとは異なるものです。即如前門主の『親鸞聖人七百五十回大遠忌法要御満座を機縁として「新たな始まり」を期する消息』には、

凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世の中安穩なれ、仏法ひろまれ」と、精一杯努力させていきたいと思います。

と記されています。このように教示された生き方が念仏者にふさわ

しい歩みであり、親鸞聖人のお心にかなったものであるといただきたいと思います。このことは、ご法要初日に「念仏者の生き方」として詳しく述べさせていただきました。

今、宗門が十年間にわたる「宗門総合振興計画」の取り組みを進めておりますなか、来る二〇一三（平成三十五年）年には宗祖ご誕生八百五十年、そして、その翌年には立教開宗八百年という記念すべき年を迎えたいします。

改めて申すまでもなく、その慶讃のご法要に向けたこれからの生活においても、私たち一人ひとりが真実信心をいただき、お慈悲の有り難さ尊さを人々に正しくわかりやすくお伝えすることが基本です。そして同時に、仏さまのような執われのない完全に清らかな行いはできなくても、それぞれの場で念仏者の生き方を目指し、精一杯努めさせていただくことが大切です。

み教えに生かされ、み教えをひろめ、さらに自他ともに心安らぐ社会を実現するため、これからも共に精進させていただきましよう。

平成二十九年

二〇一七年 五月三十一日

龍谷門主 釋 即 如

邂逅、邂逅、また邂逅。

小樽別院ご一行（第二班）
伝灯奉告法要へ参拝の巻

四月十五～十八日



▲初日、ホテルにて渡邊前ご輪番ご夫妻と

睦まじいお姿を拝見し、懐かしい、邂逅。手土産まで頂戴し恐縮。二日目、みんな揃って本山のおあさじへ。阿弥陀



▲絵付け体験で製作した扇子

堂の外陣の前の方で座っておつたらば、どこからともなく大声でお念仏が。こっちから「ナンマンダブ」そっちらも「ナンマンダブ」嗚呼、これが本願寺だな感慨深いと思つたら、富永前ご輪番が出勤されて、おお、しかも今日は前門様がお導師だ、なんと有難いご縁でありました。

宿に戻って朝ご飯を済ませたらば、支度を整えて祇園で扇子の絵付け体験。やんややんやで意外とみなさん楽しそうに筆を持って素敵な絵柄を紙に描いておられました。

目と鼻の先、大谷本廟へ参拝。静かに故人に語りかけるように手を合わせる後ろ姿と、全国からお参りのご門徒衆の賑わい。京都は伝灯奉告法要で元氣だとしみじみ感じられました。

さあ、メインの伝灯奉告法要にお

参り：の前に過密スケジュールをぬって面会してくださるとのこと。富永前ご輪番（現副執行長）の元へ。いささか緊張していたのはどうやら私だけで「みなさんはるばるようこそ」とあの和やかな笑顔で迎えてくださり、邂逅。

小樽を離れ四ヶ月。何も変わらなようなあるいは責務の中で一層ご苦労なさっているような：最後は一人一人と握手を交わし、我々もいざ堂内へ。その前にまた渡邊ご輪番が「富永前ご輪番には会えたかい」とまた訪ねてください、また恐縮。

厳かでありながらも華やいだ雰囲気。法要と集い。と、ごく簡単な書き方になりましたが今まで訪れた本願寺と違うなあと、お参りの方への配慮というか凄く細やかだなと感じました。特にそう、集いの温かな雰囲気は堂内の参詣者全員が「来てよかった」と顔が緩むほどの式典でありました。大谷宗家が会するそのお姿は「一家揃ってお参りしましょう」という大きなメッセージであり、親

が手を引いて歩いて来た子が、孫の手を引いてお寺へお参りする。今までも、今も、これからも本願寺はみんなのお寺としてあり続けるのだなと。またそうあらねばならないなと思ひました。「いやあ良い法要だった」と白州に出ると、「お」と人の声。小樽別院の元職員の山邊さんと脇さんがそこで笑みを浮かべ待ち受

けているではありませんか。「変わらないなあ」と邂逅をはたし、記念撮影。参加者もみなさん懐かしんでおられました。

邂逅、邂逅。本願寺での邂逅は母校での同窓会のようにありました。みんな各地で頑張っているようで頼もしく見えました。

え、この後まだまだ書きたいことがありますがここまで。温泉もよかったですし、お土産もたくさん買えましたし、美味しいものもたらふく食べましたし。八坂神社の夜桜も最高でしたし。良い旅行だったとご参加のみなさんに言っておいて幸いです。この誌面を読んでくださる方、何かの行事や法要がありましたら是非ご参加ください。みんな最初は訳もわからずです。そして最後は楽しかった、よかったで終われるようないろいろ計画してまいります（森）。



▲富永前ご輪番と



▲小樽別院元職員の山邊さん脇さんと

お盆を迎えるにあたって

小樽別院からのお知らせとお願い

参拝について

午前八時頃から午後六時頃（閉門時間）までにご参拝下さい。

時間帯によっては駐車場が大変混み合いますので、公共機関をご利用いただきますとスムーズに参拝いただけます。

●八月六日～十二日

ご自宅へのお盆参りに伺います。

※お盆参りご希望の方に前もってハガキにてご案内いたします。

●八月十三日～十六日

別院納骨堂に僧侶職員が常駐しています。

読経をご希望されます方は

1 お布施のご用意

※読経後に僧侶にお渡し下さい。

2 各フロアに待機しています係員にお申し込み

3 お供物はお持ち帰りください

※納骨堂のお供物はご持参いただいた方が、お持ち帰りいただきますようお願い申し上げます。

また、お供物が傷みやすい時期ですので、お盆期間が終わり次第（八月十六日頃）、お供物の回収をいたしますので、あしからずご了承ください。

納骨堂読経中止時間

●八月十五日

午後一時～二時十五分まで

（孟蘭盆会・宗祖月忌法要・永代経のため）

●八月十六日

午後十時四十五分～十一時四十五分まで

（初盆法要のため）

午後一時～二時十五分まで

（孟蘭盆会・宗祖月忌法要・永代経のため）

門徒会費（維持費）と

納骨堂管理費納入臨時受付設置（本堂にて）

全門信徒の皆様

・門徒会費（維持費）

納骨堂をお持ちの方

・納骨堂管理費

今年度中の納入をお願いします。
申しあげております。

お知らせ

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

日時：平成29年9月18日（月）12：45～14：15

場所：国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑

ご家族でご参拝の方には記念品をご用意しております。



詳細は下記ホームページをご覧ください
<http://www.hongwanji.or.jp/>



伝統工芸 京仏壇・京仏具
創業天保元年
www.wakabayashi.co.jp

株式会社 若林佛具製作所

札幌店 064-0919 札幌市中央区南 19 条西 9 丁目
TEL011-512-3455 FAX011-512-3488
京都本社・東京店・築地店・仙台店・近江草津店・福岡（営）

楽天市場「お仏壇ショップ」
<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>

住宅設備工事店

ホーム設備サービス

- 増改築工事 ●流し回り、風呂廻り改修
- 給湯器取付取替 ●配管取替
- ストーブ取付取替 ●暖房ボイラー取付取替

その他取替取付 小樽市住吉町15番8号
ご相談にじます TEL・FAX 0134-22-6966

学校卒業アルバム等制作

証明写真（パスポート、各種免許）

発表会、イベントなどの各種出張撮影

写真・画像修整加工

デジカメプリント・DPE受付

写真のたかはし

〒047-0034 小樽市緑1丁目5番5号
TEL/FAX (0134) 22-8959

広告募集

「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。
詳しくは **0134-22-0744** 別院だより担当者:西村・中村までご連絡ください。

ご法要のご案内

● 孟蘭盆会

日 時：8月15日（火）～16日（水）

午後1時30分より

御法話：富山教区 上新川組 妙傳寺
四下 順文師

● 初盆法要

日 時：8月16日（水）

午前11時より

御法話：富山教区 上新川組 妙傳寺
四下 順文師

● 納骨堂総追悼法要

日 時：9月20日（水）

午後1時30分より

御法話：北海道教区 留萌組 西曉寺
藤 法順師

● 秋季彼岸会

日 時：9月21日（木）～23日（土）

午後1時30分より

御法話：北海道教区 留萌組 西曉寺
藤 法順師

降誕会写真



もちつき



お抹茶



おみがき



多くのご参拝ありがとうございます



念珠制作



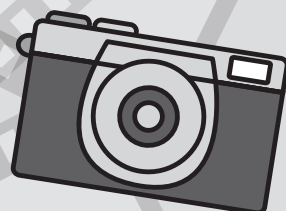
ブラスバンド



最後は抽選会でした



初参式



常例布教

期間中、全国各地から来院される布教使の方より、浄土真宗のお話を聞かせていただきます。知っているようで知らない仏さまのお話を、ご聴聞いたしましょう。

場所…小樽別院内
時間…14時～15時半

※布教使が変更になる場合がございます。ご了承ください。

8月

9～11日
未定

13～16日
四下順文師

富山教区上新川組
妙傳寺

9月

9～11日
未定

13～16日
未定

会員募集中



仏教婦人会

場所／別院ホール 日時／毎月7日 13:00 15日 11:00
担当者：磯村・西村

仏教壮年会

場所／3階会議室 日時／毎月6日 18:00～19:00
担当者：岡崎・森

彰心会

場所／若竹説教所 日時／毎月7日 18:30～
担当者：西村

無量講

場所／3階会議室 日時／毎月9日 18:00～
担当者：西川・中村

日曜仏教講座

場所／3階会議室 日時／第3日曜日 9:30～10:30
配布テキストにて進行 担当者：櫻井

仏教がやがや会

場所／3階会議室 日時／毎月15日 19:00～20:30
布教使の方よりご法話を聞かせていただきます 担当者：磯村・西村

樹心会唯信講

場所／奥沢説教所 日時／毎月10日 正午
担当者：磯村

法友会

場所／新光説教所 日時／毎月13日 18:00～
担当者：森

十九日講

場所／別院ホール 日時／毎月19日 11:30～13:30
法話を聞いて一緒にお昼ご飯をいただきます 担当者：森

おつとめ教室

場所／3階会議室 日時／毎月1～2回 火曜日 14:00～15:30
おつとめミニ知識満載です 担当者：磯村

お茶サークル

場所／浄縁塔お茶室 日時／毎月第1・3月曜日 10:00～15:00
お越しの方には、お抹茶を振る舞います 担当者：磯村・西村

彰心会報恩講の お知らせ

日時 九月三日（日）予定

午後二時

場所 若竹説教所
ご法話 輪番 芝原文雄

※午後一時より若竹地区
物故者追悼法要
ご法話の後、お齋がご
ざいます。

駐車場がございません
ので、公共機関をご利用
いただきますようお願い
申し上げます。
ご参拝をお待ちしてい
ます。



職員挨拶

承仕 中村 公彦



この度の異動で四月に備後教区教務所から着任いたしました中村公彦と申します。
北海道の雄大な大地で奉職させていただきながら、新しい出会いのご縁をいただいています。
前任地とは携わる内容が異なる為、至らない点が多々ありますが、先輩職員の方々にない、一日も早く皆様のお力になれるよう精進していく所存であります。

小樽別院から「お願いとお知らせ」

1、登録代表者について

小樽別院に登録されている代表者の方の連絡先が不明になっているご家庭が増えてきております。
左記の場合には必要書類にご記入いただきご提出いただきます。

- 1 登録代表者または納骨堂管理者の転居
 - 2 登録代表者または納骨堂管理者の変更
- ※ご印鑑や印鑑登録証明書・戸籍謄本・ご本人の署名が必要となる場合がございます。

2、仏事の申し込みについて

お納骨やご法事をされる場合は左記に事前にご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

- 1 日時 ※お盆・お彼岸等別院行事のある場合は、ご希望の日時で承れない場合がございます。
- 2 場所 ※別院内をご利用の場合はお部屋代一万円別途お願い申し上げます。

以上については事前にお電話にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

別院門徒物故者

（平成二十九年五月末現在）

通夜・葬儀の御案内

小樽別院会館ホールにて通夜・葬儀会場として使用できます。
亡き方がくださった大切なご縁をぜひ菩提寺にて。
詳細につきましては寺務所までお問い合わせください。



（写真は会館ホール）〈50名～200名〉



（写真は浄縁塔仏間）

▶小会場もございます
（20名程度）

テレホン法話

●テレホン法話担当表

8/ 1 (火) ～8/15 (火)	磯村
8/16 (水) ～8/31 (木)	村田
9/ 1 (金) ～9/15 (金)	西村
9/16 (土) ～9/30 (土)	森

TEL 27-1616

編集後記

お浄土を想い、ご先祖のご恩に報いるお盆が今年も巡ってきました。
お盆号では多くの皆様にお参りをして頂きたく、お寺でのご法要の日時を見易く、ご案内をいたしました。
お盆は亡き人を身近に感じさせます。「盆詣り、僧の背と読経の声、静かなり。皆、人を偲ぶ、人皆を偲ぶ」
編集部では、これからも新年、降誕会、報恩講、お盆の各号でお寺の行事や活動を皆様に充分に知って頂くように努めてまいります。（平田）

連絡先

本願寺小樽別院

小樽市若松1丁目4番17号

☎0134-22-0744

FAX0134-29-4080

編集委員

門徒委員

平田 晴己
竹澤 知恭
福川ヨシ子

別院担当者

西村 玄介
中村 公彦

みんな 仲良し 小樽幼稚園

～まこと(いのち)の保育を行っています～



いつも

なかよく



小樽幼稚園は平成27年度より
「子ども・子育て支援新制度」に
移行しました。

「小樽市子ども・子育て支援事業計画」
に基づき、運営します。

保育料は、市民税納税額によって
小樽市が決定し、認定証が発行されます。

入園料は、無料です。

プレ保育

毎週火曜日
10時～12時

募集中

対象者

満2歳～就園前の幼児

見学随時受付中

ぜひ幼稚園に遊びに来てください。

学校法人 小樽龍谷学園

小樽幼稚園

小樽市若松1丁目4番17号

TEL 0134-22-6536
FAX 0134-22-6537

ホームページ随時更新中!!

ホームページアドレス

<http://otaru-youchien.com/>



鉤括弧